



## 尼崎と作家たち 第37回

### 伊丹 三樹彦(いたみ・みきひこ)

俳人



1920(大正9)年伊丹市生まれ。兵庫県立工業学校建築科を卒業後、神戸市経理部建築科に勤務。

1937(昭和12)年に伊丹三樹彦のペンネームを用いて日野草城の雑誌「旗艦」に投句を始めた。戦後「まるめろ」を創刊。1949(昭和24)年草城主宰の「青玄」に合流する。師の没後は同誌を主宰した。

1971(昭和46)年、尼崎市民芸術賞を受賞。

写真と俳句を組み合わせる「写俳」という新しい俳句のジャンルを創造し才能豊かな俳人と称された。

2019(令和元)年99歳で南塚口の自宅にて死去。

### 作品紹介



#### 「阿檀 伊丹三樹彦第19句集」 角川書店 1998年発行

伊丹三樹彦の六十歳代の作品をたむらちせいが編集・解説。たむらは「句集『阿檀』が象徴する三樹彦の六十代は充実しつつも、なお新たな展開をめざすエネルギーが豊富な時代であった。それは七十代後半の現在にも持続されている。このパワーは私たち後続世代の範となり、大いに勇気づけられるのである」と綴る。

題名の『阿檀』は三樹彦の南方志向に由来する。沖縄の旅で戦跡を巡拝したときに接した実の阿檀(アダン)と花の梯梧(デイゴ)から、爆弾と鮮血の強烈なイメージを受けた。そして作られた句集の中の「守礼の国」は鎮魂の一連となっている。

## ご存じですか？

尼崎市立図書館のホームページにログインすると図書貸出券のバーコードが表示できます。つまり、貸出券を忘れて来てもスマートフォンで貸出できるのです！

さらにもっと便利な図書館アプリとLINEがあります！



アプリ



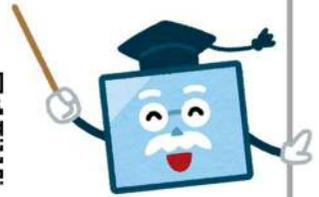
アクセスはこちらから



LINE



アクセスはこちらから



常設三二展示

## 昭和前期の小学生の くらし 尋常小学六年生「レッテル採集」大公開



昭和前期の尋常小学校6年生の少年が缶詰やサイダーなどのレッテル(ラベル)を集め、ていねいにはがし、厚紙に貼り付けて自由研究として提出しました。大切に保管され、のちに当館に寄贈されました。その資料を一挙に展示します。また、当時の尋常小学校の教科書やくらしにまつわる資料や本も集めました。

期間：4月26日(水)まで 場所：2階 エントランス

中央図書館100周年記念事業

## みんなのおすすめ本 教珠つなぎ

第29回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。稲村 和美さん(尼崎市前市長)から推薦された方は…

のじま ゆうすけ

能島 裕介さん

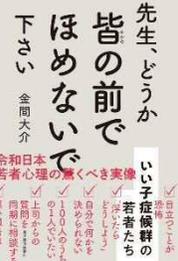
(尼崎市理事・尼崎市教育委員会教育次長)

『先生、どうか皆の前でほめないで下さい』

金間 大介／著 (東洋経済新報社 2022 年刊)



ほめられたくない、目立ちたくないという若者が激増していると筆者は言う。その一方で若者は「究極のしてもらい上手」で大人たちはうまく利用されているらしい。こう書くと、この本は単なる若者批評ととらえられるかもしれない。しかし、筆者は、そのような社会を作った大人たちに奮起を促している。「挑戦や変化が成長につながらず、チャレンジしても得るものがないと若者が思っているのは、大人がそう見せつけてきたからだ。」ぜひ、すべての大人に読んでいただきたいと思う。



# レファレンス室から

～新刊紹介～

## 『世界のお菓子図鑑』 (地球の歩き方)

2022年12月発行

ラオスの「カオ・トム」、リトアニアの「シャコティス」、イスラエルの「マラビー」、フランスの「ガレット・デ・ロワ」、タンザニアの「ウブユ」…こんなお菓子知っていますか？ 113の国と地域、日本47都道府県のローカルおやつの雑学と解説がぎっしりたっぷり詰まった、甘党にはたまらない図鑑です。



この資料は3階レファレンス室で  
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では、調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

## こんな質問がありました！

「日展」の昭和初期の  
作品図版が見たい。



当館所蔵の『創美』(創美書院) 2007年1号の記事“日展100年”によると、「日展(日本美術展覧会)」は1946(昭和21)年春に第1回が開催されており、大正～戦前までは「帝展(帝国美術院美術展覧会)」という名称で開催されていました。国立国会図書館デジタルコレクション送信館(個人登録者)限定資料として、『帝国美術院美術展覧会図録』(美術工芸会)『帝展集』(画報社)などの当時の受賞作図録をパソコンの画面で閲覧することができます。

## こんな本 入りました

～一般室の本棚から～

### 『ある行旅死亡人の物語』

武田 惇志・伊藤 亜衣/著 (毎日新聞出版)



2020年4月、ある高齢女性が尼崎市のアパートでひっそりと亡くなり、部屋には現金約3400万円が残されていた。限られた遺留品を頼りに記者たちが見つけたその女性とは…。 “行旅死亡人”にもそれぞれの人生があり、その痕跡がどこに残されている。

### 『暮らしっく』

高橋 久美子/著 (扶桑社)



作家で詩人、作詞家でもある著者が東京と愛知の二拠点生活をまとめた一冊。古い一軒家に住み、手作り野菜とご飯、物は捨てずに物々交換…。飾らない、無理をしない暮らしが等身大に綴られている。

### 『ワンダーランド急行』

荻原 浩/著 (日経BP日本経済新聞出版)



ある朝、通勤と反対方向の電車に乗ってしまった40歳の野崎修作。山の中をさまよい、戻ってくると誰もマスクをしていなかった！元の世界に戻ろうとするも、異世界を抜けるとまた異世界。彼の運命はいかに…。

### 『北京での出会い もうひとりのオーレリア』

ジャン・フランソワ・ビレテール/著  
笠間 直穂子/訳 (みすず書房)



中国古典思想の研究者である著者は不意に妻の文(ウェン)を失った。喪失感を日々書き留めた「もうひとりのオーレリア」と若いふたりの恋を描く「北京での出会い」。分かちがたい両者から成る奇跡のような物語。

# 3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館時間 **9:00~20:00**

※  印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

## 朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 3月14日(火) 午後2時~3時  
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 『佐賀のがばいばあちゃん』

島田 洋七/作(他)

※次回は4月11日(火)です。

### ◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生

### ●コアラくらぶ

11:00~11:20 0~3歳と保護者



詳細はホームページまたは子ども向け図書館だより  
「本と友だち」をご覧ください

## 特集コーナー紹介

エントランスでは毎月、季節や話題のテーマに関する本を集めて、特集コーナーを設けています。ご来館の際は、ぜひご覧ください。

3月の特集は...

**WBC**

野球に関する本



**画家ピカソ**

没後50年



**春**

春を感じる本



## 担当者のつばやき

今年の冬は特に寒い冬だというわけではなかったようですが、1月に強い寒気が流れ込んで雪が降ったことが印象に残りました。少しずつでも暖かくなると、桜のつぼみもふくらみ、気持ちも明るくなりますね。開花が待ち遠しいです。(M.Y)



4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						



あまがさきしりつちゅうおうとしょかん

〒660-0826

あまがさきし きたじょうない27ばんち

電話 (06)6481-5244

ファックス (06)6481-2142

図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp>



あいているじかん

火～土ようび あさ9じ～よる8じ

日・しゅくじつ あさ9じ～ゆうがた5じ15ふん



令和5年  
2023年

3月

今月のテーマ **野 球** の 本  
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

はるやす  
**春休みにおすすめする本**



春休みにおすすめする本をこどもの本のへやのまえに  
てんじ  
展示します。たくさんよんでね。



かいかん  
**3月23日（木）は開館します！**



まいつき、さいごの木曜日もくようびは、「かないせいり日」で  
おやすみしていますが、3月は、春休みきかんのため、  
あいています。どうぞ、ごりようください。

はるやす  
**春休みこどもえいが会**  
かい



<とき> 3月29日（水）ごご2じから2時35分

<ばしょ> 1 かいセミナー室

<ないよう> 「ふるさと再生さいせい 日本にほんのむかしばなし」

『こぶとりしい爺さん』『たにしちやうじ長者』『ほら吹きふ娘』(上映時間約35分)

(当日先着24名) \*個人・家族でのご参加が優先です。





# や きゅう 野球の本



やきゅうせかいいち  
野球世界一をきめる「2023ワールド・ベースボール・クラシ  
ック」が、3月8日から、かいさいされます。日本は、2009年  
以来3回目のゆうしょうをめざします！

すばらしいしあいがみられることをきたいしましょう！



## えほん

### 「ぼくらはうまいもんフライヤーズ」

おかだ  
岡田 よしたか/さく (ブロンズ新社)



エビフライとアジフライが、やきゅうをしようといいました。おいしそうなフライたちがやきゅうをはじめましたが、どうなるのでしょうか…？

## えほん

### 「あんちゃん」

たかべ せいいち  
高部 晴市/さく

どうしんしゃ  
(童心社)



あんちゃんは、うですもうはがっこうでいちばん。ちよつとあしはおそいけど、ソフトボールでもだいかつやく！ぼくのじまんのにいちゃんだ。あるよる、あんちゃんのこと  
で、たいへんなことをきいてしまった…。



## 36(社会)

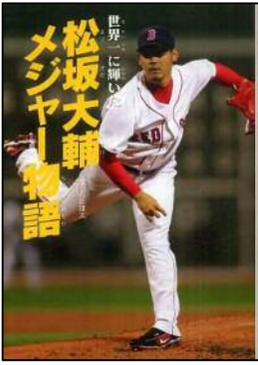
### 「世界のともだち27 キューバ 野球の国のエリオ」

やぎ どうぞう しゃしん ぶん  
八木 虎造/写真・文

かいせいしゃ  
(偕成社)



やきゅうでゆうめいな国、キューバでくらす少年エリオのせいかつをみてみましょう。キューバでは、野球道具もたりないので、古いバットや、グローブを使ったり、紙をまるめて作ったボールで練習することもあります。でも、エリオたちは、気にしていません。



## 78(野球)

「<sup>せかいいち</sup>世界に輝いた<sup>かがや</sup>松坂大輔<sup>まつざかだいすけ</sup>メジャー物語<sup>ものがたり</sup>」  
いしだ ふうた ぶん (石田 雄太/文) (がくしゅうけんきゅうしゃ (学習研究社))



「平成の怪物」とよばれた松坂大輔さんのおはなし。  
ワールド・ベースボール・クラシックでもかつやくし、アメリカにわたった。日本だけでなく、アメリカでもかつやくした彼は、たくさんのこんなんをのりこえていた。

## 93/A (日本のよみもの)

「<sup>あおぞら</sup>青空ランペット」

よしの まりこ さく みやお かずたか え がっけん (吉野 万理子/作 宮尾 和孝/絵 (学研プラス))



6年生の広記は、野球の応援をするのが、いちばんのたのしみ。でも、いっしょに応援していた友達が、応援引退宣言をした…。どうして…？



## F/O (日本のよみもの)

「おしごとのおはなし <sup>やきゅうせんしゅ</sup>フロ野球選手 <sup>フルスイング!</sup> フルスイング!」  
くすのき しげのり さく しもひら けーすけ え (くすのき しげのり/作 下平 けーすけ/絵 (講談社))

ショウゴは、はじめて野球の練習試合をみた。おもしろかったので、野球チームにはいりたいと父さんに話したが、反対された。じつは、父さんには、ひみつがあった…。

## 93/I (外国のよみもの)

「その魔球に、まだ名はない」

エレン・クレイジス/作 橋本 恵/訳 (あすなろ書房)



天才ピッチャー、ゴードンは、自分で魔球をみだし、かつやくしていた。メジャーリーガーへの道を歩み始めたようにみえたが、そのまえにたちはだかった問題は…。

# としょかんカレンダー〈3月〉



1日 (水)	
2日 (木)	
3日 (金)	
4日 (土)	<b>おはなしの会</b>
5日 (日)	
6日 (月)	おやすみ
7日 (火)	
8日 (水)	<b>コアラくらぶ</b> 
9日 (木)	
10日 (金)	<b>卒業式</b> 
11日 (土)	<b>おはなしの会</b>
12日 (日)	
13日 (月)	おやすみ
14日 (火)	
15日 (水)	
16日 (木)	
17日 (金)	
18日 (土)	<b>おはなしの会</b>
19日 (日)	
20日 (月)	おやすみ
21日 (火)	<b>春分の日</b>
22日 (水)	<b>コアラくらぶ</b> 
23日 (木)	
24日 (金)	
25日 (土)	<b>おはなしの会</b>
26日 (日)	
27日 (月)	おやすみ
28日 (火)	
29日 (水)	<b>春休み子どもえいが会</b>
30日 (木)	
31日 (金)	



**4日**

- ★0～3さい  
「あっはっは」  
「ぶるばびぶーん」
- ★3さい～6さい  
「にんじんだいこんごぼう」  
「ライフタイム」
- ★小学生  
「りんごりらっぱ」  
「ええところ」  
(おはなしグループ「ハートフリー」)



**11日**

- ★0～3さい  
「おとなりさん」  
「ぱっく」
- ★3さい～6さい  
「あ」  
「おひさまがおちないように」
- ★小学生  
「ちいさな死神くん」  
「まめざらちゃん」  
(としょかんししょ)



**18日**

- ★0～3さい  
「あがりめさがりめ」  
「いないいないばあ」
- ★3さい～6さい  
「ぶかぶかティッチ」  
「やさしいライオン」
- ★小学生  
「くつやのねこ」  
「おまたせクッキー」  
(おはなしグループ「ペガサス」)



**25日**

- ★0～3さい  
「たべたのだあれ」  
「だめよ、ティビッド！」
- ★3さい～6さい  
「パンどろぼう」  
「りんごかもしれない」
- ★小学生  
「いぬのサビシー」  
「さるじぞう」  
(おはなしグループ「ジオジオの会」)



◆としょかんコアラくらぶ◆  
日時：第2・4水曜日 午前11時から  
場所：1かい あかちゃんしつ (先着8組)  
対象：0～3さいのお子さんとその保護者

◆おはなしの会◆  
とき：2時10分～3時15分  
ばしょ：おはなしのへや  
対象：0さい～小学生

★0～3才 2:10～  
★3才～6才 2:30～  
★小学生 2:55～



## 阪神電鉄レンガ倉庫

阪神尼崎駅の南東に、阪神電気鉄道(以下、阪神電鉄)の尼崎発電所として作られたレンガ造りの建物があります。現在、梅田に本社のある阪神電鉄本社ですが、明治38(1905)年開業当時は尼崎を中枢の地としており、本社や車両工場などの主要施設を設置していました。かつての鉄道会社は自社に発電所を持っていることが多く、この建物も明治37年頃に英国技師によってレンガを用いて建てられました。

発電は石炭ボイラーで蒸気をたき、タービンを回して行われました。電力は主に電鉄用として使用されましたが、余剰分を民間にも供給していました。やがて需要が増え、明治41(1908)年、発電所は約2倍の広さに増築も行われました。この発電所は大正8(1919)年に稼働を停止し、内部を倉庫として用いるため、機械類の搬出後は床が設置されるなど改造されます。

その後、昭和60(1985)年に増築部が取り壊され、増築前に当初建てられた部分が現存しています。現在は、阪神電鉄の資材置き場として活用され、建物内部は公開されていないため、外観のみ眺めることができます。この建物は尼崎の近代化を象徴するとして、平成23(2011)年の第8回「まちかどチャミング賞・まちなみ建物部門」にも選ばれています。

参考:『昔も今もこれからも兵庫を築く』兵庫県建設業協会/編集発行・『尼崎市史 第10巻』渡辺久雄/著 尼崎市役所)

### ◆ 阪神電鉄と甲子園

野球の聖地である甲子園球場の成り立ちは、阪神電鉄が大正11(1922)年、利用者増のモデルケースとして打ち出した総合開発構想から始まります。たびたび氾濫など水害のあった武庫川の改修事業として、支流の枝川を埋め立て甲子園という土地が開発されていきます。この頃、全国中等学校優勝大会(現・高等学校野球選手権大会)も始まっていて、西宮の鳴尾運動場などで行われていました。しかし、観客を収容できないほどの野球人気から、大規模な球場を求める機運が高まり、大正13(1924)年、甲子園大運動場(現・阪神甲子園)が誕生します。また、昭和10(1935)年には大阪野球倶楽部(現・阪神タイガース)も設立されました。甲子園の名前の由来は完成した大正13(1924)年が、十干の甲(きのえ)と十二支の子(ね)が重なる60年に一度の縁起の良い年にあたる事から名付けられました。甲子園球場は令和6(2024)年に設立100周年を迎えます。

(参考:『阪神電鉄のひみつ』PHP研究所/編集発行)

### ● 「甲子園」についてならこんな本●

『高校野球100年を読む』小野祥之/著, 『野球太郎』編集部/著 ポプラ社 212066346

『阪神園芸甲子園の神整備』金沢健児/著 毎日新聞出版 212157570

『すごいぞ! 甲子園の大記録』講談社/編集発行 221809837

### <図書館の休館日>

印の日はお休みです

3月

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑰	20	⑳	22	23	24	25
⑳	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑬	17	18	19	20	21	22
⑳	24	25	26	27	28	㉑
㉒	30					



3月: 弥生(やよい)

「やよい」は「いやおい」で、すべての草木が春の陽気に恵まれて生い育つという意味。

誕生石: アクアマリン・珊瑚、ブラッドストーン、アイオライト

時候: 早春、啓蟄(けいちつ)、春暖、春雨、桃の節句、卒業

# 最終木曜日の3月30日は開館します

## あそぼう！はなそう！あかちゃんひろば

【日時】3月15日(水) 11:00~12:00 (10:45開場)  
読み聞かせ 11:00~11:20

【場所】3階集会室

【対象】0~2歳くらいのお子さんとその保護者

【申込】不要・入退場自由



毎月第1・3水曜日に行っている「あかちゃんひろば」の出張特別版です。手遊びを交えた読み聞かせや本の紹介を行います。3階の広いお部屋におすすめの本と手作りおもちゃを用意していますので、自由に読んだり遊んだり、皆さんの交流の場としてもご利用いただけます。是非ご参加ください。

## 楽しく学ぼう！図書館入門の巻

【日時】3月25日(土) 13:00~14:00

【場所】北図書館

【対象】小学生 ※ 保護者は同伴できません

【定員】10名

【申込】3月9日(木)~ 1階カウンター、または電話にて受付。



読みたい本や調べたいものを自分で探せるようになろう！  
本のことや図書館の使い方を一緒に学んで、最後に本探しミッションにチャレンジ！



### <3月展示のご案内>

一般大展示 「植物さんぽ」  
2階展示 「素通りできない絵巻の世界」



- ・ 急遽イベントを中止、または延期する場合があります。
- ・ ご来館の際は感染症対策へのご協力をお願い致します。

# 大人のための朗読会

【日時】 3月15日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『きずな』より

「漆喰くい」

高田 郁/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

## 人を読む 益田ミリ

1969年～大阪府生まれ。イラストレーター。小説『アンナの土星』、エッセイ『大阪人の胸のうち』『女という生きもの』『キュンとしちゃだめですか?』『小さいコトが気になります』絵本『こころ』など著書多数。

### 『一度だけ』

益田 ミリ[著]/幻冬舎

夫の浮気が原因で離婚し、妹・ひな子と暮らす弥生。叔母に誘われたひな子がブラジル旅行に出かけて不在となる一週間、弥生は毎日何かひとつ新しいことをやってみようと考えてるが……。『GINGER L.』に連載した作品を加筆修正し、書き下ろしを加えて単行本化。

### 『かわいい見聞録』

益田 ミリ[著]/集英社

“かわいいは平和だ。とりあえず褒めることになる” さくらんぼに雪だるま、シジミ貝やシャーペンの芯、毛玉や輪ゴムに至るまで、日常の中の王道や意外な「かわいい」を集め、そのヒミツを探る。集英社WEB文芸『レンザブロー』連載を加筆し、単行本化したコミック&エッセイ。

### 『ちょっとそこまでひとり旅だれかと旅』

益田 ミリ[著]/幻冬舎

“昨日まで知らなかった世界を、今日のわたしは知っている” 八丈島、宝塚、奈良や萩には一人で。金沢、京都には母と二人で。フィンランドは女友達三人と。いつでもどこにでも出かけられる「ちょっとそこまで」という気軽さで行ってきた旅の記録。『ふう』ほか連載を書籍化。

### 『げそすけとじいじとばあば』

益田 ミリ[作]・平澤 一平[絵]  
/あかね書房

いかに子・げそすけは汽車に乗って、じいじとばあばに会いに来た。一緒に海の中を散歩していると、じいじ達も知らない長い階段が。その階段を降りていくと、なぜかじいじとばあばはだんだん若返り、ついには、げそすけと同じ子供になってしまつて……。【0～5歳】

京都芸術短期大学を卒業後、デザイナーからフリーのイラストレーターを経て、漫画家としてデビュー。漫画『すーちゃん』シリーズが2013年に映画化。雑誌や新聞などで川柳やエッセイを連載するほか、『おはようぼくだよ』などの絵本も出版している。絵本『はやくはやくっていわないで』で産経児童出版文化賞を受賞。

# 児童室

## おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~  
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~  
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

<p><b>3/4 (土)</b>                  ● おひざのうえ                  「おんぶにだっこにかたぐるま」                  「あーそーぼ」</p> <p>○ 小さい人                  「キリンですけど」                  「ありこのおつかい」</p> <p>◎ 大きい人                  「フランクリンの空とぶ本やさん」                  「ランパンパン」</p>	<p><b>3/11 (土)</b>                  ● おひざのうえ                  「ねんね」                  「きょうもひつじぱん」 「どのはないちばんすきななはな？」</p> <p>○ 小さい人                  「そらまめくんのベッド」                  「ついてにペロリ」</p> <p>◎ 大きい人                  「はるがきた」                  「びんぼうこびと」</p>	<p><b>3/18 (土)</b>                  ● おひざのうえ                  「めんめんばあ」</p> <p>○ 小さい人                  「わらう」                  「カメのこうらは、ひびだらけ」</p> <p>◎ 大きい人                  「ピーターのがみ」                  「おおかみとセひきのこやぎ」</p>
--	---	---



第1・第3 水曜日  
**あかちゃんひろば**

場所:1階絵本コーナー  
 3/1(水)  
 午前11:00~11:20  
 0歳~2歳くらいの  
 お子さんと保護者向け  
 赤ちゃん絵本、手遊びなど

3/15(水) 11時~12時  
 「あそぼう!はなそう!  
 あかちゃんひろば!」  
 場所:3階集会室



第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー  
 2歳くらいから  
 3/12(日)、3/26(日)  
 午前11:00~11:20  
 季節の絵本や紙芝居など

3

今月の展示

『卒園・入学  
はるのえほん』

日	月	火	水	木	金	土
			1 	2	3	4 
5	6	7	8	9	10	11 
12 	13	14	15 	16	17	18 
19	20	21	22	23	24	25
26 	27	28	29	30	31	